

平成26年度「ながさき水産業大賞」受賞者の概要

1. 長崎県知事賞

部門名	受賞者名	概要
次世代へつなぐ海づくり部門	長与浦再生活動組織（長与町）	地域が一体となり長与浦浅海域の保全活動に取り組んだ結果、アマモ場が回復した。開始2年後にはナマコ・シャコの水揚げの増加による所得向上が見られ、漁業者や地域住民の環境に対する意識改革に貢献した。
収益性の高い経営体づくり部門（団体の部）	長崎かんぼこ王国推進委員会（長崎市）	「長崎おでん」レトルトパック、「ちゃポリタン」等の新商品開発やイベントの開催等のPR活動により、練り製品の売上げ増、原料である地元水産物の消費拡大に貢献した。
収益性の高い経営体づくり部門（個人の部）	すえたけ くにひこ 末竹 邦彦 (佐世保市)	マガキ養殖のオフシーズンに旬を迎えるイワガキ養殖で、九十九島地区において先駆的に最新技術の導入に取り組み、品質及び知名度の向上や地域全体の養殖技術の底上げにより、九十九島養殖イワガキのブランド化の推進に貢献している。 また、オイスターバーへの出荷や海外への輸出等、新たな分野へ商品を提供し、養殖カキの販路開拓に寄与している。
活力ある漁村づくり部門	くさば えいじ 草葉 英次 (対馬市)	地域における漁業後継者育成のため、計画的（約4年毎）に乗り子を雇用、漁労技術や心構え等を指導することで漁業後継者の確保及び定住人口確保に貢献している。

2. 長崎県漁業協同組合連合会長賞

部門名	受賞者名	概要
次世代へつなぐ海づくり部門	長崎市新三重漁業協同組合潜水漁業部会（長崎市）	磯焼け対策に取り組み、ウニの適正管理により藻場の回復と漁獲増及びアワビ資源の回復に貢献している。
収益性の高い経営体づくり部門（団体の部）	鴨居瀬地区ヒジキ養殖部会（対馬市）	主要漁業のイカ釣りの漁閑期に副業としてヒジキ養殖に新たに取り組んだことで所得向上に貢献するとともに、ヒジキ種苗生産技術開発にも取り組み、種苗安定確保と経費削減に道筋をつけたことで地区内外への波及にも寄与している。
収益性の高い経営体づくり部門（個人の部）	やまぐち りんや 山口 倫矢 (壱岐市)	真珠養殖において日々の研鑽により卓越した挿核技術を習得し、常に高品質の真珠作りを追及することで収益性の向上に貢献、技術向上により、企業経営の安定に寄与している。
活力ある漁村づくり部門	やまだ ひろし 山田 大 (新上五島町)	アコヤ貝養殖の遊休漁場を有効活用した貝類養殖（マガキ・イワガキ等）の推進及び加工品の製造・販売など新たな事業拡大により6次産業化の推進、地域での新規雇用創出に貢献している。

3. 特別賞（ながさき水産業大賞運営委員長賞）

賞の種類	受賞者名	概要
特別賞	いのうえ ひろたか 井上 広孝 (雲仙市)	イワガキ養殖において収穫時の殻破損や形状不良の課題を解消すべくシングルシード種苗生産を発案し、県総合水産試験場のシングルシード種苗生産技術の開発に貢献した。 この種苗生産技術は、県内各地に技術移転され、本県イワガキ養殖の振興に大きく寄与している。
特別賞	ほそい いさよし 細井 尉佐義 (対馬市)	地域に新たな鮮度保持技術（首折り♂）を導入し、新たな市場を開拓（築地・熊本）、個人で行っていたインターネットでの鮮魚販売を地元漁業者グループでの販売までに発展させ、地域漁業の収益力向上に貢献している。 また、島内で初めて開始した海上バードウォッチングは、ツアー企画に取り入れられるなど交流人口の拡大及び雇用創出に繋がっている。